

AIDS

2008-2019



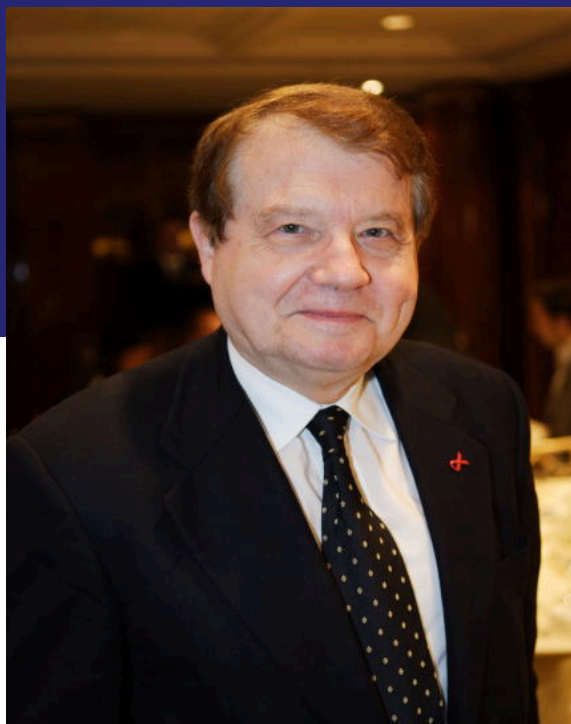
World Foundation Aids Research and Prevention
under the auspices of the UNESCO

ユネスコ協賛世界エイズ研究予防財団 日本事務所





世界エイズ研究予防財団理事長 リュック・モンタニエ博士



世界エイズ研究予防財団は、ユネスコの協賛により設立され、発展途上国のエイズ患者への支援を中心に活動しています。私どもの日本事務所は予防教育に大変力を注いでおり、この活動が広がっていくことを心より希望しています。

Prof. Luc MONTAGNIER

HIV(エイズウイルス)発見者
フランス医学アカデミー会員
フランス化学研究センター研究部長
ルイ・パスツール研究所教授(～1997)
ニューヨーク大学クイーンズカレッジ
分子生物学センター教授兼部長(～2001)
世界エイズ研究予防財団理事長(1993～)

- 主な受賞歴 -
CNRS銀メダル
ガン医学ローゼン賞
レジオン・ドヌール・ナショナル勲章
2008年 ノーベル医学生理学賞

1932年8月18日生まれ。パスツール研究所の共同研究者を率い、1983年、世界に先駆けて後天性免疫不全症候群(エイズ)の病原体であるヒト免疫不全ウイルス(HIV)を発見し、HIV研究の糸口を開きました。

1986年、モンタニエ博士のグループは、第2のエイズウイルス HIV II を新たに発見。1991年には、彼の研究チームが HIV感染者の体内でTリンパ球が消失するメカニズムはアポトーシス(プログラムされた細胞死)であることを突き止めました。

エイズの爆発的な増加を危惧したモンタニエ博士は、1993年、当時ユネスコの総裁であったフェデリコ・マヨール氏と共に、パリのユネスコ本部に世界エイズ研究予防財団を設立しました。そしてエイズの被害の最も大きい地域であるアフリカに予防や治療の新たな発展の成果を導入するため、コートジボアールの首都アビジャンにエイズ研究センターを開設しました。多くの診療所や病院が近年の状況に苦しむ中、センターにはますます多くの患者さんがつめかれています。また、カメルーン共和国のヤウンデに、財団による二番目のエイズ研究センターが2006年2月23日新設されました。現在、モンタニエ博士は、高価でずっと服用が必要である現在のエイズ治療法に代わる免疫を高める食品と治療用ワクチンの開発に取り組んでおり、臨床試験に向けて日夜研究を続けています。



パリ ユネスコ本部

モンタニエ博士2008年ノーベル医学生理学賞受賞！

日本事務所設立10年目の節目に、私たちの財団の理事長である リュック・モンタニエ博士がノーベル医学生理学賞を受賞！との非常に嬉しいニュースが飛び込んできました。このニュースは、翌日の読売新聞、朝日新聞、岐阜新聞、中日新聞などでも大きく取り上げられました。



ノーベル賞受賞式

これを機会に、モンタニエ博士の希望である予防教育活動を地道に続けることの重要性をスタッフ一同改めて感じています。2008年12月10日に行われたノーベル賞授賞式には、ノーベル財団から招待を受け、日本事務所代表の林も出席し、博士と喜びを分かち合いました。



左からモンタニエ博士、パレシヌシ博士、ハウゼン博士

2008年のノーベル医学生理学賞は、エイズを引き起こすHIVを発見したリュック・モンタニエ博士とフランソワーズ・パレシヌシ博士、そして子宮頸がんを引き起こすヒトパピローマウイルスを発見したドイツのハラルド・ツァ・ハウゼン博士の3名に贈られました。これらのウイルスの発見により、病気の感染の仕組みや診断法、治療法の開発、病気の予防につながったことが高く評価されました。エイズの最初の患者が発見されたのが1981年、そしてその原因がHIVであることが付き止められたのが1983年。HIV感染者の生存率は著しく上昇し、私たちが今、この病気の予防法を知ることができるのもモンタニエ博士らのおかげと言えるでしょう。



メダル授与直後

世界エイズ研究予防財団ボードメンバーと



日本事務所代表 林 幸泰



厚生労働省の発表によりますと、2018年報告されたHIV感染者報告数は940件、AIDS患者報告数は377件でした。日本は、年間1,500件前後の新規報告が続いている状況にあり、累積報告件数は30,000件を超えました。新たなエイズ患者の報告数は、主要先進国では減少傾向にありますが、日本だけが増え続けています。

HIVから身を守る最大のワクチン、それが予防教育です。子供は国の宝であるのに、2018年には全世界で年間約16万人もの子供達が新たにHIVに感染しています（UNAIDS発表）。一人でも多くの子供たちを守れたらと、私は思っております。

世界エイズ研究予防財団 日本事務所
代表 林 幸泰

世界エイズ研究予防財団日本事務所は、山と緑に囲まれた自然の豊かな岐阜県揖斐郡大野町に1998年に設立されました。「エイズの最良のワクチンならびに予防薬は教育である」という考えに基づき、小中高生との対話を通じた草の根エイズ予防教育に努めています。



又、地方レベルでのエイズ予防教育に加え、チャリティーコンサートの開催といった音楽とエイズ予防教育を組み合わせた独自の活動も展開しています。

スタッフ一同、ひとりでも多くの方が正しい知識を持ち、エイズにかからないよう、エイズ予防活動に努めて参りますので、今後とも暖かいご支援の程宜しくお願い申し上げます。

世界エイズ研究予防財団 日本事務所

WFARPチャリティーコンサート

2010年11月5日、ジャズ・ヴォーカリストの平賀マリカさんをお迎えして、WFARPチャリティーコンサートを開催しました。コンサートの売上金、およびアストン・マーティン・アジアパシフィック、ジャガー・ランドローバー・ジャパン、大里研究所からの協賛金で、エイズ予防財団と岐阜新聞・岐阜放送社会事業団社会福祉寄金へ各5万円を寄付し、また世界エイズ研究予防財団本部へ3,000ドルを送金しました。コンサートの前に、理事長のリュック・モンタニエ博士からのメッセージが大里研究所所長ピエール・マンテロ氏の代読で紹介されました。演奏終了後には、画家片桐乙日子氏をお招きし、すてきな絵に囲まれながら参加者全員でティーパーティを楽しみました。



大里研究所所長ピエール・マンテロ氏



林代表と片桐乙日子氏



ジャガー・ランドローバー社長ラッセル・アンダーソン氏(左)と

2011年12月17日、再び平賀マリカさんをお迎えして、WFARPクリスマスチャリティーコンサートを開催しました。今回は、コンサートの売上金、およびフェアリー・ジャパン、ジャガー・ランドローバー・ジャパン、大里研究所からの協賛金で、3月11日に震災および津波で親を亡くした子供達への教育援助を目的として立ち上げられた大里研究所Heart for Japan Projectを通じ、あしなが育英会に50万円を寄付しました。

2013年12月7日、3度目平賀マリカさんをお迎えしてのWFARPチャリティーコンサートでは、コンサートの売上金と協賛金は『シャイン・オン・キッズ』へ寄付されました。すべての演奏が終わると、代表の林 幸泰から参加者へのお礼が述べられ、United Airlineの日本支社長Millar氏の紹介で『シャイン・オン！キッズ』の活動を知ったこと、小児がんの子供達への心のケアのためのプログラムを全国14病院に無償で提供されていることが紹介されました。



2016年11月6日、3年ぶり4度目となる平賀マリカさんのWFARPチャリティーコンサートでは、会場は平賀さんの歌声とピアノ、ベースによるジャズの音色に包まれ、約70人のお客さまを魅了しました。コンサート終了後には、代表の林幸泰が挨拶し、エイズの現状についてお話し、大里研究所を通じ「あしなが育英会」と地元である「大野町」に寄付を行いました。あしなが育英会の事務局長 目時修さんと大野町総務部部長 国枝幸一さんからご挨拶があり、最後はお茶会を楽しみました。



2013年のコンサートの様子、新聞でも紹介されました。



左から林代表、国枝さん(大野町)、目時さん(あしなが)



世界のHIV/AIDS流行状況 (2018年末現在 UNAIDS発表)

3790万人

西欧・中欧・北アメリカ

220万人

東欧・中央アジア

170万人

中東・北アフリカ

24万人

西部および
中央アフリカ

500万人

アジア太平洋

590万人

カリブ海沿岸

34万人

ラテンアメリカ

190万人

東部および
南部アフリカ

2,060万人

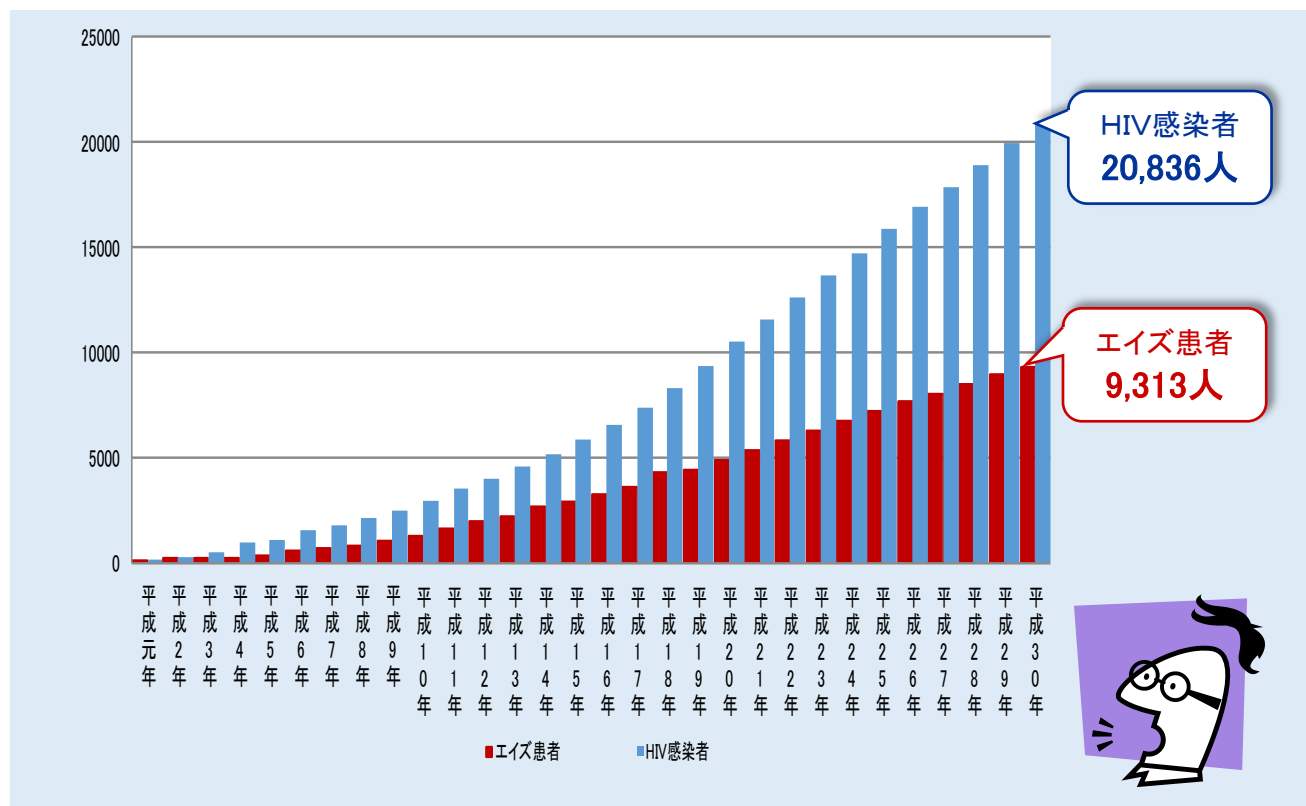
* 上記の数字は、入手可能な最良のデータを基にして算出された推計値です。

<2018年世界の状況>

- 3790 万人[3270-4400 万人]が HIV とともに生きている
- 2330 万人が抗 HIV 治療を受けている
- 170 万人[140-230 万人]が新たに HIV に感染した
- 77 万人[57-110 万人]がエイズに関連する原因により死亡した。

- エイズに関連する死亡は最も多かった2004年(190万人)以降55%以上減少した。
- 抗 HIV 治療を受けている成人陽性者は全体の62%、大人が62%なのに対し15歳未満の子供は54%に過ぎない。

日本のHIV感染者・エイズ患者報告数累計推移



日本のHIV感染者・エイズ患者は増え続けています！

新規HIV感染者報告数および新規AIDS患者報告数は、2008年以降、増加傾向から横ばいになりつつあります。しかし、2018年においても、新規HIV感染者報告数は940件、新規AIDS患者報告数は377件と年間1,317件の新規報告があり、累積報告件数は2018年末に**30,149件**になりました。また、新規報告数全体に占める新規AIDS患者の割合は30%前後と高い値のまま推移しており、これらの患者はエイズを発症してからHIV感染が判明するので、「いきなりエイズ」患者とも呼ばれ、特に中高年で割合が高く問題視されています。また、福岡県を中心に九州でエイズ患者が急増しているというニュースも話題となったように、海外からの観光客の増加によるリスク増にも警鐘が鳴らされています。発表されている数字はあくまでも『報告数』であり、自分が感染している気がついていない感染者を合わせると5倍から10倍になるのではないかと専門家の意見も聞かれます。唯一感染を知ることができる方法はHIV検査を受けることであり、早期の検査と治療が必要です。そして感染を防ぐために何より必要なのは教育であり、予防教育の重要性はますます高まっています。



エイズ予防講演

世界エイズ研究予防財団日本事務所では、学校と提携しながら子供たちにとって必要なエイズ予防教育とは何かをテーマに講演活動を行っております。そのためには、専門知識をただ知るよりも本当に必要な情報をふれあいを通じて心で感じる必要があるのではないかと、試行錯誤しながら取り組んでいます。今後も、要請があればどこへでも講演活動に行きますので、活動に共感された方や興味を持たれた方は財団事務所までご連絡ください。

小学生向け講演



財団のある岐阜県揖斐郡大野町の大野北小学校と大野西小学校では、熱心な養護教諭の先生の協力や町のバス送迎のバックアップもあり、小学校6年生の児童たちが毎年の行事の一環として財団を訪れ、エイズについて真剣に勉強しています。岐南町立東小学校、岐南町立北小学校からも講演依頼があり、小学校で授業を行いました！
たくさん質問してくれてありがとう！！



中高生向け講演



2007年春から2016年末にかけて山県高校、久瀬中学校、長森南中学校、本巣松陽高校、市立岐阜商業高校、東安中学校、江並中学校、岐南中学校、登龍中学校等の生徒さんと一緒にエイズについて勉強する機会を持つことができました。どの年齢の子供たちにもHIVから自分の身を守るということについては話していますが、特に中高生の皆さんには予防の大切さを訴えています。講演をきっかけとして、エイズを自分たちの問題として捉え、自分の身も相手の身も守ることができるような対話を心がけています。



社会人向け講演

2007年4月児童擁護施設の「樹心寮」より職員向けのエイズ予防講演を依頼されました。児童擁護施設とは、家庭の事情で親が養育できなかつたり、親による教育が子供にとってよくない場合に、その子供を養育、自立支援をするところです。また、2011年には本巣ロータリークラブより要請を受け、定例会に参加してきました。参加者の皆さんは、自分のため、そして若い世代へ伝えるため熱心に話を聞いておられました。





モンタニエ博士、大野町の子供たちとお祝いの会

2009年10月6日、大野町の小中学生が世界エイズ研究予防財団日本事務所に集まり、博士のノーベル賞受賞を祝福し、お祝いの会が開かれました。会には大野町の子供たち、大野町長など80名以上が集まりました。エイズ・チャリティーコンサートを行い博士とも面識のあるピアニストの徳江陽子さんが、博士の大好きなショパンを演奏してくれました。



子供たちからは博士に多くの質問が投げかけられ、博士も楽しそうに答えてくれました。お祝いに子供たちから博士に花束が、博士から子供たちにはレッドリボンバッジが手渡されました。最後に林代表が「今日の博士の話を聞いて科学に目覚めた子は科学を、徳江さんのピアノを聴いてピアノに目覚めた子はピアノをやれば良いと思います。どんな道をえらんだとしても、その道で一生懸命やるのが大切だと思います。大野町から世界に羽ばたく人達がきつーと思います。夢にむかって頑張ってください。」という言葉で会を締めくくりました。



モンタニエ博士来日、日仏会館で予防医学の講演 あしなが育英会に寄付

震災後、著名な科学者の来日が減っている中、世界エイズ研究予防財団の理事長リュック・モンタニエ博士（2008年ノーベル医学生理学賞受賞者）が予防医学の権威 ジェラルール・サラマ医師と共に来日し、2011年6月21日在日フランス大使館科学技術部と日仏会館フランス事務所の共催のもと、東京の日仏会館にて「予防医学の今」をテーマに講演を行いました。



「抗老化医学の現在と将来的展望」講演風景



あしなが育英会 東田健一課長に 大里研究所 Heart for JAPAN 基金が手渡されました



モンタニエ博士のレクチャー

2011年東日本大震災の後、
「何かできることはないか、特に
子供たちに対してできることはないか。」
とモンタニエ博士から相談を受けた
林幸泰代表は、国内の数ある基金の
中から「あしなが育英基金」を選び
大里研究所Heart for JAPAN Project
を通じ1,000,000円を寄付しました。
講演終了後、参加者の皆さんにも
寄付を呼び掛けました。



サラマ医師のレクチャー



参加者からも募金の協力をしていただきました



岐阜放送チャリティースペシャル



2009年のチャリティースペシャルには、地元大野町の杉山町長(放送日現在)にも参加していただき、林代表とふたりが生放送に参加し、地元の行政や学校との連携による活動が紹介されました。また、特別VTRで、岐阜を何度も訪れ、大野町の子供たちのための講演を行っているモンタニエ博士からのメッセージも紹介されました。2010年は、大野町の西小学校の小森先生と北小学校の後藤先生をゲストとしてお迎えし、大里研究所ymaホールで収録を行いました。ふたりの先生方は、小学生が財団へ勉強に来た時の様子や生徒の感想などを話してくださり、

2008年も岐阜放送の『チャリティースペシャル』で財団の活動が紹介されました。当財団代表林と、エイズ予防財団の日本エイズストップ基金運営部長の永井頼政さん、大野町立大野西小学校の長谷川妙子校長、同じく西小学校の養護教諭である小森あけみ先生、ピアニストの大田佳弘さんの5名が、新しいスタジオでの生放送番組に参加し、「小学生からのエイズ教育」をテーマにインタビューを受け、その後に、ピアニストの大田佳弘さんがドビュッシーの「喜びの島」を演奏してくれました。



本番はいつも緊張します！(2008)



杉山町長と収録後記念撮影(2009)



右から細江先生、吉田先生、林代表(2012)

収録は和やかに進みました。放送は3月21日
岐阜放送チャリティースペシャル内に放映さ
れました。

2011年は、震災の影響で収録に参加するこ
とはできませんでしたが、番組の中で、パーソ
ナリティーのアナウンサーの方に財団の活動を
報告してもらい、エイズの現況を伝えてもらい
ました。

2012年は、東日本大震災からちょうど1年の3
月11日に広げよう助け合いの輪をテーマに行
われ、林代表がスタジオでの生放送に大垣市
立江並中学校の吉田先生と岐南町立東小学
校から細江先生と一緒に参加し地震のあった
時間には皆で黙祷をささげた後、あしなが育
英会へのチャリティーについても報告しました。

近年は、特番ではなく1週間にわたりタ方の
ニュース番組中に県内のチャリティー団体が
紹介される形に変更されましたが、この中
でも当財団の活動はたびたび紹介されています。



左から林代表、後藤先生、小森先生(2010)



あしなが育英会の東田さん、ピアニストの大田さんご夫妻も収録に参加(2015)



ピアニストの徳江陽子さんも参加(2016)



ぎふチャンで事前収録(2017)



リハーサル中の社長 (2018)



「POLA TALKER'S TABLE」にてエイズ予防講演！！



----講演で受けた感想の一部を紹介----

- ・これまで過去の病気だと思っていましたが、今回具体的な数字をふまえたお話で、身近な病気であることが良くわかりました。
- ・自分もAIDSにならないよう、また感染しないように気を付けたいです。
- ・自分が感染しないように気を付けると同時に、自分の子供たちや家族にもこのことを伝えていき守っていきたいです。

2017年4月30日、東京のメルセデス・ベンツ コネクションで開催されたトークイベント「POLA TALKER'S TABLE」にて、「教育は最大の予防薬」という題でエイズについてお話をしました。「POLA TALKER'S TABLE」は、社会的に意義のある発信者に発信の場を提供する目的で企画されたイベントで、当財団の林代表が依頼を受けて講演を行いました。緑あふれるドーム型のスペースで、エイズについて授業形式でお話した後、約30名の参加者それぞれにマイクを渡して質問や感想を述べてもらいました。財団ではこうした大人向けの講演も行っていますのでお気軽にご依頼ください！



ボールを使ってHIVを説明



東京都のエイズの現状を報告



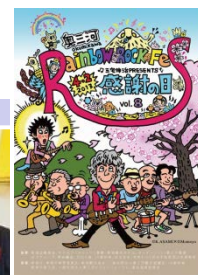
ウイルスについてピンポン玉で説明



参加者との質疑応答の時間

「奥三河 Rainbow Rock Fes」に出展しました！

2017年4月2日、愛知県新城市の「ふれあいパークほうらい」で行われた野外ライブ「奥三河 Rainbow Rock Fes」で活動を行いました。このイベントは、ロック歌手の故忌野清志郎さんが愛した愛知県奥三河で「感謝の日」のLIVEを開催したいという地元実行委員の熱い思いから奥三河の大自然の中での開催され、子どもから年配の方まで約1200人の方々が音楽を楽しみました。当日はブースにて当財団の活動報告や資料の配布、募金、チャリティーグッズの販売などを行い、来場者にエイズ予防を呼びかけました。



HIV検査体験レポート！

エイズ検査は、無料、匿名（氏名、住所、電話番号などは聞かれません）で各保健所で受けることができます。岐阜県では、各保健所で採血後1時間30分以内に検査結果を知ることのできる即日検査を行っています。岐阜保健所での検査の様子をレポートします。

●エイズ予防情報ネット

全国の自治体の相談・検査窓口一覧など様々な情報が紹介されています。

<http://api-net.jfap.or.jp>

詳しい曜日や時間については
保健所へ電話でお問い合わせを！



検査当日、検査・相談の流れについてパンフレットを使いながら説明を受け、アンケート票の記入をしました（無記名です）。検査についての説明、受検の意思の確認が行われた後、約9ccの採血をします。

岐阜保健所は岐阜県健康科学センター内にあります。予約は電話で行いました。最近検査を受けに行く人も増えたためすぐに予約を取るとは難しいそうですが、ちょうど希望する曜日に空きがあり検査してもらえたことになりました。



結果が出たのは約40分後でした。（混み具合によって待ち時間は異なります。）保健師さんが丁寧に説明してくれますが、結果が陰性であればHIVに感染していないとのこと、まずは一安心です。結果が陽性であれば、確認検査を受けましょう。100人にひとりくらい感染していなくても陽性の結果が出る場合（偽陽性）があるので、更に精密な検査が必要だそうです。



エイズはHIVに感染することによって起こりますが
HIV感染＝エイズではありません



ヒューマン イムノデフィシェンシー ヴァイрус
Human(ヒト) **I**mmunodeficiency(免疫不全) **V**irus(ウイルス)

HIV

ウイルスの名前です。免疫のしくみの中心となる白血球（CD4細胞）に感染し、からだを病気などから守っている免疫を徐々に破壊します。

HIV感染者 = HIVに感染しても、エイズを発症していない人

無症候期

約  年

（人により期間は異なります）

- HIV感染してもすぐには症状は出ません
- 自覚症状がなく他人へ感染させることもあります
- 他の病気に比べ発症まで時間がかかるのが特徴

アクワイアド イミュノ デフィシェンシー シンドローム
Acquired (後天性) **I**mmuno (免疫) **D**eficiency (不全) **S**yndrome (症候群)

AIDS

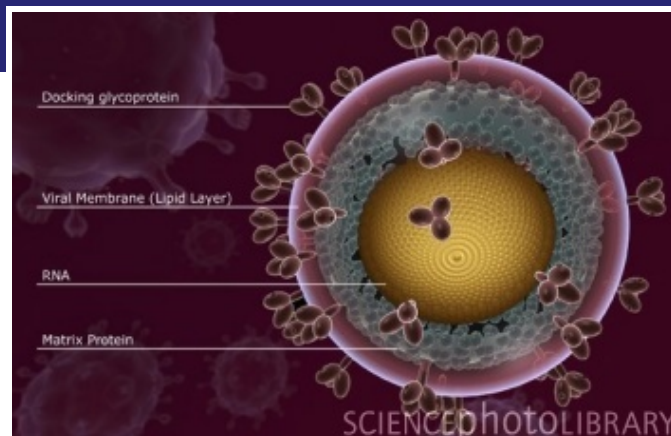
『生まれたあとにかかる(後天性)
免疫の働きが低下すること(免疫不全)により
生じるいろいろな症状の集まり(症候群)』
という意味、つまり病気の総称(名前)です。

エイズ患者 = エイズという病気を発症した人

HIVの3つの感染経路

HIVは

- ★ 感染力の弱いウイルスです。
- ★ 軽い接触による感染・空気感染の心配はありません。下記の「3つの感染経路」を断てば確実に予防できます！
- ★ しかし、感染の危険性は誰にでもあり、自分の性行動について賢い選択(相手に不安を感じたら断る、感情に流されない、無防備な性行動はしない等)が重要です。



① 性行為による感染

相手がウイルスをもっていると粘膜や傷口から感染



② 血液による感染

注射器の共有(注射の回し打ちなど)



③ 母子感染

妊娠中母体内で、または出産、授乳時に



HIVの治療について

Q HIV感染症やエイズの治療に健康保険は使えるのですか？ 治療費はいくら位
かかりますか？何か助成等は受けられないのですか？

A HIV感染症の治療には健康保険を使うことができます。また、身体障害者手帳
の交付を受ければ、医療費の助成を受けることができます。

医療費について

治療費はその人の身体の状態や治療方針などによって
異なりますので、一概に数字を示すことは難しいですが、
現在標準的な治療である抗HIV薬の多剤併用療法では、
全額自己負担として、**毎月15万～20万円程度**かかると
言われています。健康保険を使うと、国民健康保険も
健康保険も、共に原則3割の自己負担となりますので、
抗HIV薬だけで 毎月数万円の費用がかかる計算となり
ます。実際は、これに再診料や定期的な血液検査などの
諸検査料などが加わります。もし、ほかに何か予防しなければならない日和見感染症等があったり、
治療を必要とする病気があれば、さらに費用はかかります。ただ、一般の病気と同様、例えば高額
療養費制度などの医療費助成制度や、傷病手当金や生活保護などの福祉制度などを利用するこ
とが可能です。



身体障害者手帳の交付

HIV感染症は免疫機能障害として、**身体障害者手帳の申請も可能**です。身体障害者手帳の交付を
受けると、心身障害者医療費助成や更生医療（原則1割負担）などの医療費の助成を受けたり、そ
の他各種手当の給付や税金の軽減、公共料金の割引、運賃等の割引などのサービスを受けるこ
とができます。しかし、身体障害者手帳の等級や所得の制限を設けているものもあり、市町村によっ
ても受けられるサービスに違いがあります。



エイズの症状について

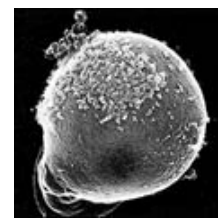
Q HIVに感染したらどのような症状がでますか？

A ほとんどの場合、感染初期には目立った症状はありません。しかし数週間以内に、熱、発疹、リンパ節の腫れ、疲労感などさまざまな症状が起こり、数週間続きます。その後、これらの症状は消えますが、リンパ節だけは腫れが続きます。感染した場合、症状がなくても、感染力は早い時期からあります。HIVに感染してからエイズを発症するまでには何年もの間かかり、10年以上たってから発症する人もいます。エイズを発症するまでは、まったく元気な人もいれば、リンパ節の腫れ、体重減少、疲労感、繰り返し起こる発熱、下痢、貧血、口の真菌感染症（鵝口瘡[がこうそう]）など、種々の非特異的な症状が出る人もいます。



エイズの主な症状は、HIVの感染によって起きる特定の日和見感染症や癌による症状です。HIVは脳に直接感染することもあり、記憶障害、脱力感、歩行困難、思考や集中が困難になる認知症が起こります。

一部の人は、明らかな原因がなくても、エイズ羸瘦（るいそう）といって体重が著しく減少することがあり、恐らくHIVが関与しているものと思われます。



HIVに感染したT細胞

エイズの人における羸瘦は、連続して感染症にかかったり、結核のような持続的な感染症を放置したりしていたときにも起こります。腎不全もHIVが直接原因となって起こりますが、白人より黒人に多い傾向があります。カポジ肉腫は皮膚に痛みのない赤紫色の隆起した斑点ができる癌で、多くのエイズ患者、特に男性同性愛者に多くみられます。免疫系の癌（リンパ腫、特に非ホジキンリンパ腫）も発症しますが、初めに脳に出現すると、錯乱、人格の変化、記憶障害が現れます。女性は子宮頸癌（しきゅうけいがん）、男性同性愛者は直腸癌にかかりやすくなります。エイズによる死亡は通常、羸瘦、認知症、日和見感染症、癌などの症状が重なったことが原因となって起こります。



広げようレッドリボンの輪！



財団では、エイズ予防の輪がつながっていくようにとの願いを込めて、レッドリボンという名前のバラを大切に育てています。同じ大野町にある「サンローズ」の青木宏達さんのご好意により、接木が成功しました。財団では、講演を行った小中学校にこのレッドリボンの苗木の鉢をプレゼントしています。スタッフ一同このレッドリボンとともに、エイズ予防の輪が広がっていくことを期待しています。



*** 寄付金はこちらまで ***

口座名義: ユネスコ協賛 (財)世界エイズ研究予防財団 日本事務所

銀行名: 大垣共立銀行 本店 口座番号: 普通 715083

ご存知ですか？

レッドリボン
の意味

“レッドリボン(赤いリボン)”はもともとヨーロッパに古くから伝承される風習のひとつで、病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。

この“レッドリボン”がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1980年代の終わり頃でした。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティスト達にもエイズが広がり、エイズに倒れて死んでいく人達が増えていきました。そうした仲間達にたいする追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すために“赤いリボン”をシンボルにした運動が始まりました。この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展しています。



チャリティー御協力への御礼



レッドリボンバッジ・オリジナル絵葉書セット (各千円)

皆様から暖かいご協力ありがとうございます。チャリティーグッズの販売の収益金および皆様の寄付金は、アフリカ、コートジボワールにあります当財団のアビジャンエイズ研究センター(1996年4月、コートジボワール政府とユネスコの協力を得て設立)へ治療・研究費として送金や配布用の小冊子購入に使わせていただいております。

ユネスコ協賛 世界エイズ研究予防財団 日本事務所

〒501-0501 岐阜県揖斐郡大野町稲富1956 Tel: 0585-34-3850 Fax: 0585-34-3858
E-mail: info@wfarp-japan.com Website: http://www.wfarp-japan.com

